

公益社団法人日本獣医師会 会長 殿

福岡県 “One Health” 国際フォーラム実行委員会
大会本部長 福岡県知事 服部 誠太郎

「福岡県 “One Health” 国際フォーラム 2022」の開催方法の変更について

本県の保健医療介護行政の推進につきましては、平素から御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「福岡県 “One Health” 国際フォーラム 2022」の開催については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、下記の通り、WEB開催に変更することといたしました。

つきましては、無観客での開催となり、開会式出席者、基調講演、県民講座及び分科会の座長、講演者以外の来場が出来ませんので、皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解いただきますようよろしくお願い申し上げます。

記

【WEB開催】

・ライブ配信

日時：2022年2月12日（土）13:00～16:15

内容：開会式（13:00～13:30）

基調講演 1（13:35～14:25）

基調講演 2（14:30～15:20）

県民講座（15:25～16:15）

・オンデマンド配信

配信日時：後日ホームページにてお知らせいたします。

配信内容：開会式／基調講演（一部のみ）／県民講座／分科会

【視聴方法】

- ・ホームページ（<https://www.one-health-fukuoka2022.com/>）からどなたでもご視聴いただけます（事前申込の必要はございません。）。



〒812-8577

福岡市博多区東公園 7 番 7 号

福岡県 “One Health” 国際フォーラム実行委員会事務局

（福岡県保健医療介護部ワンヘルス総合推進室内）担当：江島、佐野

TEL: 092-643-3622 FAX: 092-643-3241

Mail: sano-s9958@pref.fukuoka.lg.jp

"One Health" International Forum 2022 in Fukuoka



Human health
Animal health
Environmental Health

参加
無料

新たな時代におけるワンヘルスの実践 福岡県"One Health"国際フォーラム 2022

福岡県"One Health"国際フォーラム2022は十分な感染対策をした上で、現地での開催を予定しております。
実行委員会と致しましては、是非皆様に現地にお越しいただきたいと考えておりますが、
ご都合によって、現地に来られない方のためにフォーラム終了後にオンデマンド配信を行います。(一部セッション除く)
参加には事前に申込が必要です。ホームページからお申込みください。

※最新情報・詳細については今後も随時、ホームページにてご案内させていただきます。



会期：令和4年 **2月12日(土)** 13:00~16:15 開会式/基調講演/県民講座

令和4年 **2月13日(日)** 10:00~16:20 分科会

会場：福岡アイランドシティフォーラム (〒813-0017 福岡県福岡市東区香椎照葉6-6-6)

プログラム

2月12日(土) 福岡アイランドシティフォーラム ホール A

開会式

基調講演 1

座長：越村 義雄(一般社団法人 人とペットの幸せ創造協会 会長)

「One Health and the Human Animal Bond : COVID Implications」

ワンヘルスと、人と動物の絆ーCOVIDの影響

レベッカ ジョンソン ※リモート出演

(ミズーリ大学 シンクレア看護学部 名誉教授)

IAHAIO (人と動物の関係に関する国際組織) 前会長。ペットと一緒に暮らすことを推奨している高齢者施設「タイガープレイス」を設立し、「人と動物の共生社会」の実現と研究に多大な貢献を示す。



基調講演 2

「Everything Comes from Somewhere : Wildlife, Ecology, and Human Disease」

あらゆるものはどこからかやって来るー野生動物、生態系、人間の病気

デビット クアメン ※ビデオ出演

(作家・ジャーナリスト「スピルオーバー ウイルスはなぜ動物からヒトへ飛び移るのか」著者)

フィクション、ノンフィクションを問わず10数冊を刊行。国内外の8つの賞にノミネートされ、3つの賞を受賞。「スピルオーバー (2014)」は野生動物から人間へと伝播する病原体が近い日に次なるパンデミックを引き起こすことを予言した世界的ベストセラー。



県民講座

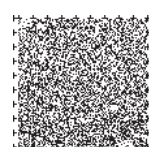
座長：今村 和彦(公益社団法人 福岡県獣医師会 専務理事)

「ワンヘルスにおける森林医学～健康は森から～」

李 卿 (日本医科大学付属病院 リハビリテーション科 臨床教授)



音声コード
Uni-Voice



2月13日(日) 福岡アイランドシティフォーラム カンファレンス 1・2・3

分科会 1：人と動物の共通感染症 分科会 2：薬剤耐性(AMR) 分科会 3：環境保護 分科会 4：ワンヘルスの取組

主 催：福岡県"One Health"国際フォーラム実行委員会

運営事務局：株式会社アウルズ

✉ Email: convention@owlsone.co.jp

🌐 <https://one-health-fukuoka2022.com>

分科会プログラム

Subcommittee program

分科会 1 人と動物の共通感染症

【新型コロナウイルス感染症】

座長：戸川 温（福岡大学病院 腫瘍・血液・感染症内科 准教授）
下田 宙（山口大学共同獣医学部 准教授）

10:00～12:05 福岡アイランドシティフォーラム カンファレンス1

- 講演 1 「Virus Ecology, from host reservoir to disease」
Vincent Munster (Chief, Virus Ecology Section, NIAID, Laboratory of Virology)
- 講演 2 「One Health challenges of influenza viruses and coronaviruses」
Randy A. Albrecht (Associate Professor, Department of Microbiology, Global Health and Emerging Pathogens Institute, Icahn School of Medicine at Mount Sinai)
- 講演 3 「新型コロナウイルスのゲノムサーベイランスによる公衆衛生対策」
黒田 誠（国立感染症研究所・病原体ゲノム解析研究センター センター長）
- 講演 4 「福岡大学病院ECMOセンターにおける肺炎・ARDSを呈した重症COVID-19患者の治療経験」
石倉 宏恭（福岡大学医学部 救命救急医学講座 主任教授）
- 講演 5 「新型コロナウイルス感染症 感染対策について」
忽那 賢志（大阪大学大学院医学系研究科 感染制御学 教授）

分科会 1 人と動物の共通感染症

【新興感染症】

座長：戸川 温（福岡大学病院 腫瘍・血液・感染症内科 准教授）
下田 宙（山口大学共同獣医学部 准教授）

13:00～15:30 福岡アイランドシティフォーラム カンファレンス1

- 講演 1 「新興ウイルス感染症対策の歩み：SARS、Ebola、からCOVID-19まで」
加藤 康幸（国際医療福祉大学成田病院感染症科 部長）
- 講演 2 「新興・再興感染症としてのマラリアを2030年までに排除する」
狩野 繁之（国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 研究所 熱帯医学・マラリア研究部 部長）
- 講演 3 「Vector-borne rickettsioses in Taiwan」
Kun-Hsien Tsai (Professor/Associate Director, Department of Public Health, National Taiwan University)
- 講演 4 「未知のウイルスを発見し、未来に出現するウイルスを予測する」
水谷 哲也（東京農工大学農学部感染症未来疫学研究センター センター長・教授）
- 講演 5 「新興感染症SFTSの動物モデルと病原性」
下島 昌幸（国立感染症研究所ウイルス第一部 室長）
- 講演 6 「次なる新興感染症対策に向けた大規模ウイルス探索」
堀江 真行（大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 獣医学専攻獣医微生物学教室 教授）

分科会 2 薬剤耐性(AMR)

座長：松永 展明（国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院国際感染症センター）
AMR臨床リファレンスセンター臨床疫学室長

10:00～12:05 福岡アイランドシティフォーラム カンファレンス2

- 講演 1 「薬剤耐性菌 サイレントパンデミックの脅威」
松永 展明（国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院国際感染症センター）
AMR臨床リファレンスセンター臨床疫学室長
- 講演 2 「伴侶動物由来薬剤耐性菌の現状」
原田 和記（鳥取大学 准教授）
- 講演 3 「The Role of OIE in the Prevention of the Next Pandemic」
Kinzang Dukpa (Regional Project Coordinator, OIE Regional Representation for Asia and the Pacific)
- 講演 4 「豚由来病原性大腸菌の薬剤耐性」
楠本 正博（農研機構 動物衛生研究部門 腸管病原菌グループ長）
- 講演 5 「薬剤耐性問題において「虎は死しても皮を残す」の意味を考えよう」
鈴木 聡（愛媛大学沿岸環境科学研究センター 教授）

分科会 3 環境保護

座長：岡部 貴美子（国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所）
生物多様性・気候変動研究拠点長

13:00～15:30 福岡アイランドシティフォーラム カンファレンス2

- 講演 1 「環境的側面に焦点を当てたUNEPにおけるワンヘルスに向けた取り組み」
八代 真紀子（国連環境計画アジア太平洋事務所 企画調整官）
- 講演 2 「生物多様性、気候変動、健康の相互連関」
森田 香菜子（国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所）
生物多様性・気候変動研究拠点 主任研究員
- 講演 3 「Nature-Based Solutions to drive One Health Pandemic Prevention」
Chris Walzer (Executive Director Health, Health Program Wildlife Conservation Society / Prof. Chair Conservation Medicine, Conservation Medicine University of Veterinary Medicine Vienna, Austria)
- 講演 4 「Biodiversity Mainstreaming: Strengthening One Health in ASEAN」
Theresa Mundita S. Lim (Executive Director, ASEAN Centre for Biodiversity)
- 講演 5 「ワンヘルス共同宣言をうけて、WWFが目指す生態系保全」
松田 英美子（WWFジャパン 自然保護室 生物多様性グループ長）
パブリックセクターパートナーシップグループ長

分科会 4 ワンヘルスの取組

【FAVA】

10:00～10:35 福岡アイランドシティフォーラム カンファレンス3

「アジア獣医師会連合 (FAVA) におけるワンヘルス戦略と第21回FAVA大会 (福岡)」
境 政人（公益社団法人 日本獣医師会 副会長兼専務理事）

分科会 4 ワンヘルスの取組

【WHO】

10:35～11:10 福岡アイランドシティフォーラム カンファレンス3

「Antimicrobial Resistance A One Health Challenge」
Elizabeth Tayler (Unit head, Tripartite Joint Secretariat WHO)

分科会 4 ワンヘルスの取組

【行政】

11:10～12:00 福岡アイランドシティフォーラム カンファレンス3

「福岡県におけるワンヘルスの取組」
左藤 秀樹（福岡県保健医療介護部 保健医療介護総務課 ワンヘルス総合推進室 室長）
笠井 康行（福岡県教育庁教育振興部体育スポーツ健康課 課長補佐）

分科会 4 ワンヘルスの取組

【医療・療育関係者】
コーディネーター：NPO法人ことばとリレーションシップの会
大久保 史子（内科医）
今村 亜子（言語聴覚士）

13:00～14:40 福岡アイランドシティフォーラム カンファレンス3

テーマ「人も生き物～多様な生命のひろがりの中で」
パネラー 渡邊 裕子（児童発達支援センター 保育士）
加藤 麻衣子（福岡療育支援センターいちばん星 言語聴覚士）
竹中 祐二（公益社団法人 福岡県作業療法協会 会長 作業療法士）
利光 恵（西九州大学 子ども学部心理カウンセリング学科 准教授）
公認心理士・臨床心理士

分科会 4 ワンヘルスの取組

【民間団体】

コーディネーター：後藤 暢子（株式会社フリーランス）

14:40～16:20 福岡アイランドシティフォーラム カンファレンス3

テーマ「飛躍する、苦悩する「ワンヘルス」 市民団体のとりくみ」
パネラー 神田 浩史（NPO法人 東京・垂井 副代表理事）
芝田 良倫（一般社団法人 ワン・ヘルス・クリエイツ 代表理事）
今村 和彦（公益社団法人福岡県獣医師会 専務理事）